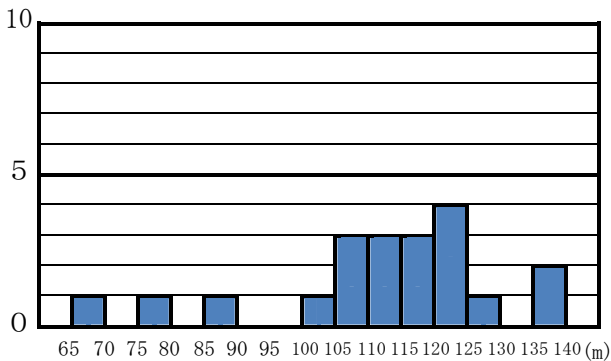


学習日 月 日 年 組 番 氏名

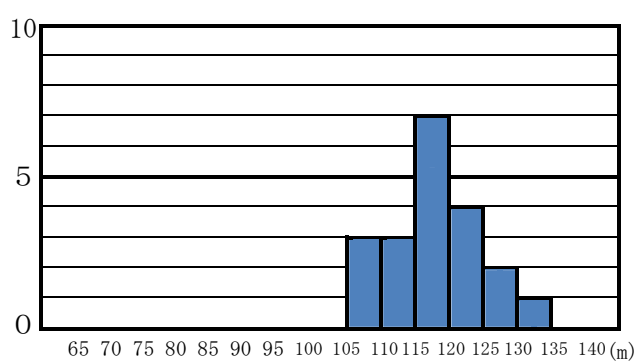
- 1 1998年生まれの美咲さんは、この年に行われた長野オリンピックで日本チームが金メダルをとったスキージャンプ競技に興味をもちました。この競技では、飛んだ距離の大きさと姿勢の美しさを競います。美咲さんは、このときの日本チームの原田雅彦選手と船木和喜選手の飛んだ距離の記録について調べました。下の2つのヒストグラムは、1998年シーズンの長野オリンピックまでのいくつかの国際大会で、二人が飛んだ距離の記録をまとめたものです。たとえば、このヒストグラムから、二人とも105m以上110m未満の距離を3回飛んだことがわかります。

[H24 全国学調]

(回) 原田選手の記録



(回) 船木選手の記録



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

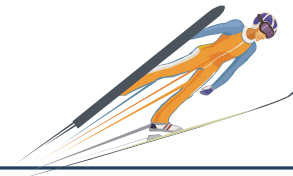
- (1) 上の二人のヒストグラムから、原田選手と船木選手の飛んだ回数が同じであることがわかります。その回数を求めなさい。

答

- (2) 美咲さんは、もしこの二人がもう1回ずつ飛んだとしたら、どちらの選手がより遠くへ飛びそうかを、二人のヒストグラムをもとに考えてみたいと思いました。

二人のヒストグラムを比較して、そこからわかる特徴をもとに、次の1回でより遠くへ飛びそうな選手を一人選ぶとすると、あなたならどちらの選手を選びますか。下のア、イの中からどちらか一方の選手を選びなさい。また、その選手を選んだ理由を、二人のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの選手を選んで説明してもかまいません。

ア 原田選手    イ 船木選手

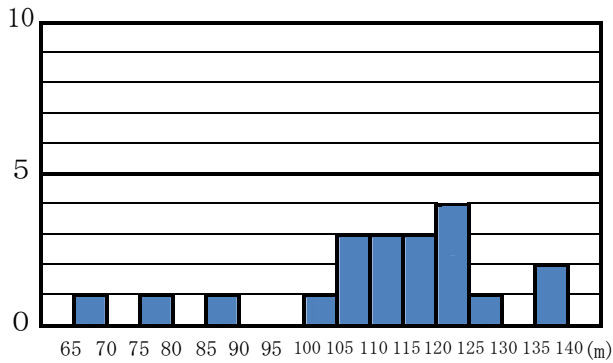


選んだ選手

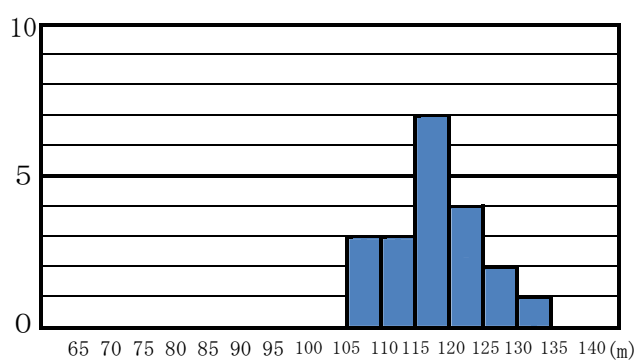
説明

1

(回) 原田選手の記録



(回) 船木選手の記録



(1)

答 20回

(2) 解答例

選んだ選手 ア (原田選手を選択した場合)

説明

原田選手の記録の方が船木選手の記録より130m以上の階級の度数の合計が多いので、原田選手の方が次の1回で遠くへ飛びそうな選手である。だから、原田選手を選ぶ。

選んだ選手 イ (船木選手を選択した場合)

説明

船木選手の記録の方が原田選手の記録より範囲が小さく、階級の中央値の値の大きいところに記録が集まっているので、船木選手の方が次の1回でより遠くへ飛びそうな選手である。だから、船木選手を選ぶ。